



2021年11月9日

各位

会社名 三菱マテリアル株式会社  
代表者名 執行役社長 小野 直樹  
(コード番号 5711 東証第1部)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長  
大村 勇次  
(電話番号 03-5252-5206)

2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、  
業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月6日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表いたしました同実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年8月6日に公表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想並びに2021年5月14日に公表いたしました配当予想を修正するとともに、本日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の連結業績予想値と実績値の差異

1) 差異の内容

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	880,000	26,000	34,000	23,000
実績値(B)	860,026	29,038	38,220	38,181
増減額(B-A)	△19,974	3,038	4,220	15,181
増減率(%)	△2.3	11.7	12.4	66.0
(ご参考)前期連結実績 (2021年3月期第2四半期)	725,568	6,890	16,457	△19,150

2) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、半導体関連製品の販売が堅調に推移したことなどから、売上高は概ね前回予想並みとなりましたが、営業利益及び経常利益は前回予想を上回りました。加えて、投資有価証券売却益を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益も前回予想を上回りました。

2. 2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想の修正

1) 2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	1,760,000	47,000	56,000	37,000
今回予想（B）	1,760,000	42,000	59,000	37,000
増減額（B－A）	－	△5,000	3,000	－
増減率（％）	－	△10.6	5.4	－
（ご参考）前期連結実績 （2021年3月期通期）	1,485,121	26,567	44,527	24,407

2) 2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	1,090,000	8,000	17,000	19,000
今回予想（B）	1,090,000	2,000	17,000	22,000
増減額（B－A）	－	△6,000	－	3,000
増減率（％）	－	△75.0	－	15.8
（ご参考）前期個別実績 （2021年3月期通期）	868,053	△4,822	15,199	21,260

3) 修正の理由

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間は増益となったものの、パラジウム価格下落の影響などがある一方、鉱山からの受取配当金の増加などにより、営業利益は前回予想に比べて減少し、経常利益は前回予想から増加する見込みです。また、政策保有株式の縮減及び事業構造改革を進めることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想並みと見込んでおります。

2022年3月期通期の個別業績予想につきましても、連結業績と同様の理由により、営業利益は前回予想に比べて減少するものの、当期純利益は前回予想に比べて増加する見込みです。

3. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正

1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	前回予想 (2021年5月14日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基準日	2021年9月30日	2021年9月30日	2020年9月30日
1株当たり配当金	40円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当15円00銭)	25円00銭	0円00銭
配当金総額	5,236百万円	－	－
効力発生日	2021年12月10日	－	－
配当原資	利益剰余金	－	－

2) 配当予想の修正

	1株当たり配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	25 円 00 銭	25 円 00 銭	50 円 00 銭
今 回 予 想	—	40 円 00 銭 (普通配当 25 円 00 銭) (特別配当 15 円 00 銭)	80 円 00 銭 (普通配当 50 円 00 銭) (特別配当 30 円 00 銭)
当 期 実 績	40 円 00 銭 (普通配当 25 円 00 銭) (特別配当 15 円 00 銭)	—	—
前 期 実 績 (2021 年 3 月 期)	0 円 00 銭	50 円 00 銭	50 円 00 銭

3) 理由

当社は、2020 年度から 2022 年度までを対象とする中期経営戦略期間中の年間配当金額の下限を 1 株当たり 50 円とし、その上で、資産の売却等を加速させ自己株式取得や追加配当等の機動的な資金配分を行うことにより、同期間中において当初見込んでいた配当総額並みの株主還元の実施を目指すこととしております。

この方針に従い、2022 年 3 月期の間配当及び期末配当予想につきましては、1 株当たり 25 円の普通配当に、投資有価証券の売却などによる一時的な収益に対応する還元として 1 株当たり 15 円の特別配当を加えて、1 株当たり 40 円とすることといたしました。これにより、年間配当予想は、1 株当たり 80 円となります。

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向等を前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上